

小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
 未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	三角形の拡大図のかき方を考えよう		
学年	小学校第6学年		
目標	形が同じ図形の性質を使って、三角形の拡大図や縮図のかき方を理解させる。		
教材タイプ	記載例：テキスト言語・ビジュアル言語・タンジブル		
使用教材	Scratch		
環境	児童1人で1台の端末を使用		
都道府県	徳島県		
実施校	八万南小学校		
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)		学習内容	指導上の留意点
	導入	<ul style="list-style-type: none"> ○提示された場面を把握する、 ○本時のめあてを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・画面の一部を隠し、児童に予想させる。 ・児童から本時のめあてを引き出す。
	展開	<ul style="list-style-type: none"> ○三角形の拡大図のかき方を考える。 ○拡大図のかき方を交流し、説明する。  <ul style="list-style-type: none"> ○拡大図の性質をまとめる。 ○縮図のかき方を考える。 ○縮図のかき方を交流し、説明する。 ○縮図の性質をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・角度や辺の長さの数値に着目させる。 ・児童の言葉を中心にまとめていく。 ・拡大図のかき方を生かして、縮図のかき方を考えさせる。
	まとめ	○本時の振り返りをする。	・キーワード(角度・辺の長さ)を用いて本時の振り返りをする。
成果と課題	作業が苦手な児童も、何回も書くことでねらいにせまることができた。 長さを数値化することで、より拡大、縮小の理解が進んだ。		